

令和7年度「特色ある学校づくり対策事業」実績報告書

佐世保市立大久保小学校

〒857-0049

佐世保市東大久保町9-10

校長 山口 伸一郎

児童数 110名

学級数 9学級

(特別支援学級3学級)



目的

思いやりの心を持ち、相手の気持ちが わかる子供の育成

～コミュニティ・スクールを基盤においた、いのちの教育や地域・家庭と連携した教育活動、地域人材を生かした体験活動等の取組を通して～

心の教育の充実とコミュニケーション能力の向上について、身の回りの様々な「人・もの・こと」とのかかわりをとおして、自立貢献できる子どもを育てる。

学習指導の充実

～「見方・考え方」を働かせる授業づくり、各種ボランティアとの連携を通して～

生徒指導の充実

～異学年交流活動の推進や家庭や地域との連携・協働をとおして～

実践内容・成果

Ⅰ 思いやりの心をもち、相手の気持ちがわかる子どもの育成

○いのちを見つめる集会

今年度も6月1日に「いのちを見つめる集会」を開催し、いのちの教育の充実を図った。

校長講話では、6月1日はいのちの大切さを学ぶ大事な日であることを冒頭で話した。次に「自分らしく今を一生懸命生きる」「自分のいのちと同じくらい、まわりの人のいのちを大切にする」ことについて具体的に子どもたちに語りかけた。最後に、家庭・地域との連携をとおして、いのちを大切にする子どもを育てていくことを語り結びとした。

児童・保護者・地域それぞれの代表が決意の言葉を表明したことで、いのちの大切さについて全員で共有することができた。



○地域人材を生かした様々な体験活動

地域人材を生かし、本物に学ぶ、本物に出会う体験学習を、低学年は生活科の学習で高学年は総合的な学習の時間を中心に、様々な教科の中で実施することができた。1・2年生の「町たんけん」や「幼保小交流」、「久田学園との交流活動」等を行うことができた。3・4年生は「社会科見学」や「環境学習」等、5・6年生は「久田学園との交流活動」「茶道教室」や「職場体験」「地域の方と懇談した家庭科の学習」等、それぞれの学年の教科・領域のねらいを踏まえた上で、児童が主体的により深く学んでいくこと、地域人材活用により、人と人とのつながりや思いを感じる、より心に残る学びを意識し、体験学習を行うことができた。



2 学習指導の充実

○「見方・考え方」を働かせる授業づくり

研究授業では、算数科における見方・考え方を働かせる授業づくりを目指し、教職員全員が検証授業を行った。11月に実施した5年生の研究授業の際には、今年度も市教育センターから講師を招聘し、授業づくりについて職員全員で対話しながら研修を深めることができた。

また、本校児童の課題である主体的な学び、学びを起こす授業について、よりよい授業の在り方や改善点話し、思いを共有するよい機会になった。



○各種ボランティアと連携した教育活動

毎週水曜日の朝の時間「チャレンジタイム」では、学習ボランティアの協力を得て「丸付け先生として」学習支援を行っていただいた。単に丸付けを行うだけでなく、学びに向かうかまえや学習規律についても助言をいただくことができた。

月曜日の朝の時間には、図書ボランティアが来校し、絵本の読み語りを年間通して行ってくださった。様々な物語の世界に触れることは児童の豊かな心を育てるとともに、言葉に対する興味や語彙力の育成にもつながっている。

コミュニティ・スクールの元年、これまで以上に地域や保護者と連携し、児童の学びの基盤をしっかり支えることができたことは大きな成果である。



3 生徒指導の充実

○異学年交流活動「たて割り活動」～秩序と活気のある子どもの育成～

「たて割り掃除」や「たて割り掃除」を年間通して実施することができた。異学年での交流を通して、高学年の児童にはリーダー性や思いやる心の育成を図ることができた。低学年の児童においては、集団で活動することで、ルールを守ることや協力して取り組むことの大切さについて学ぶことができた。児童一人一人が活動や対話を通して刺激し合い、本校の学校教育目標である「秩序と活気のある子どもの育成」の具現化を図ることができたように思う。



○地域・家庭と連携した教育活動

あいさつボランティアをはじめ、本校の教育活動には、多くの地域の方々ボランティアとして協力してくださっている。本年度は、11月末に実施した学習発表会「輝きっ子発表会」の前に「ボランティア感謝の会」を開き、日頃お世話になっている地域ボランティアの方々に感謝の言葉を伝えたり、手作りのプレゼントを渡したりして、感謝の思いを伝えることができた。



今後の課題

本年度も、学校を取り巻く様々な「人・もの・こと」とのかかわりをとおして、いのちの教育の充実や思いやりの心の育成、秩序と活気のある子どもたちの育成の具現化を図るために、学習指導の充実や生徒指導の充実に向けた取組を図ってきた。今年度はコミュニティー・スクール元年として、学校運営協議会において、家庭・地域・学校の3者懇談会を開催し、「共育目標」を「明るく元気なあいさつ」とし、3者の見守り支えの中で子どもたちを育てていくことについて、思いを共有することができた。今後はより一層、地域・家庭と手を取り合い「共育」を合言葉に、子どもたち育てていく取組を図っていくこと。そして連携や取組を今後も持続可能なものとして人から人へつないでいくことが課題となる。大久保地区の佐世保市のふるさとへの愛着をもたせ、多様な他者と協働し、よりよい社会を創っていく資質・能力をこれからも育成していきたい。